



例会場 仙台国際ホテル  
例会日 毎木曜日 12:30~13:30  
事務所 〒980-0021  
仙台市青葉区中央四丁目 6-1  
TEL. 223-3652 FAX. 223-3662

メールアドレス sendaisr@star.ocn.ne.jp  
会長 鈴木 俊一  
副会長 和田 達雄、松良 千廣  
幹事 高橋 玲二  
プログラム 佐々木利晃 日置 道隆 西尾 章  
情報委員会 山下 晴輝

2018-2019年度 (No. 12) 第2967回例会 (平成30年10月4日)

前回の報告・今週のお知らせ

本日の予定

ガバナー公式訪問

次回(10月18日)の予定

プルミエール  
事業主 岩井 美和 会員  
「国分町育ち」

※来週 10月11日の例会は休会です。  
(クラブ定款第6条1-Cにより)

予定

10月11日 休会 (クラブ定款第6条1-Cにより)  
10月18日 松良酒場 (家庭集会)  
10月25日 夜間例会  
11月1日 定例理事会  
" 第1回職場訪問  
11月5日 合同幹事会

前回のゲスト・ビジター(9月27日) (敬称略)

なし

出席率 会員数38名

9月13日 57.89%  
9月20日 73.68%  
9月27日 60.53% (10月3日現在)

お誕生日おめでとうございます

10月7日 村口 聡 会員  
10月10日 千葉 ミオ 会員  
10月14日 和田 政宗 会員  
10月17日 坂本 正憲 会員  
(10月11日休会のため繰上げ紹介)

今年度ニコニコボックス状況

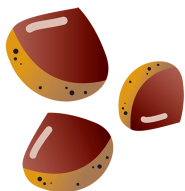
前回の合計額 11,000円  
今年度累計額 173,000円

ご結婚記念日おめでとうございます

10月10日 熊谷 一也 会員  
(10月11日休会のため繰上げ紹介)

ニコニコボックス

高木 信三会員：結婚祝い有難うございます。39年になりました。  
星 毅会員：残念BOXになりました。重鎮の菊地会員の訃報にタダ只残念でなりません。  
岩松 正記会員：ホテルの入り口で滑って転んでしまいました。  
熊谷 晴樹会員：昨日の検査の結果、食事制限、アルコール制限がとれて、ニコニコ。  
熊谷 一也会員：本日、卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。



本日のMENU : 洋食料理

◇マロンのクリームスープ “カプチーノ” 仕立て  
◇ポークロース肉の茸入りグリュイエールチーズ焼き 皮付きポテトとベーコンとオニオンのソテー添え  
◇デザート ◇コーヒー ◇ホテルメイドパン

### 私の震災体験

#### カメイオート株式会社 代表取締役 熊谷一也会員

東日本大震災でカメイグループは13名の犠牲者を出し、三陸沿岸部の事業拠点は壊滅、その被害総額は48億円にも達しました。

震災の翌日から当社には燃料の供給を要請する行政機関や病院関係者、取引先、一般市民まで、多くの人々が昼夜を問わず押し寄せてきました。緊急車両への給油と医療施設などへの燃料配送が喫緊の課題でした。しかし、東北全需要の3分の2を生産する仙台製油所が火災で出荷ができません。このとき、当社の塩釜貞山油槽所には大量の燃料がストックされており、タンクも無事であることが確認されました。この施設は宮城県最大の貯蔵能力を持っていますが、停電と設備の冠水で稼働出来ず、周辺道路もガレキの障害物で近づくことができません。しかし、この未曾有の危機を乗り越えるにはこの燃料を活用するしかありません。当社力だけでは解決できませんでした。16日、当社社長が村井県知事と㈱ユアテック様を訪問、この施設の復旧を要請しました。最優先でアクセス道路のガレキが撤去され、電気設備も復旧しました。18日からは出荷が再開、

緊急度の高い施設に燃料を供給できるようになりました。また4か所のガソリンスタンドを宮城県に緊急車両専用施設として提供、専用のローリーでピストン輸送を開始し、全国から集結した救援車両に休まず給油をし続けました。ただ、一般市民や取引先には給油することができず、多くのお叱りを受けたのも事実です。当時の対応が正しかったかどうかは分かりませんが、ライフラインを担う企業として地域社会における役割の重要性を改めて痛感しました。また、当社社員もそうでしたが、困難に立ち向かおうとする幾多の職業人の使命感に勇気をいただきました。石油業界は需要の減少に伴い、製油所や油槽所の統廃合、タンクローリーの削減、セルフ化などの合理化を強く進めてきました。それが非常時の供給網を崩壊させてしまいました。災害時の対策には業界としても多くの課題が残されています。



## RI 第 2590 地区よりの植樹祭支援目録手交

### 2017-2018 年度幹事 岩松正記会員

当クラブの日置道隆会員が代表を務める一般社団法人森の防潮堤協会に対し、国際ロータリー第2590地区（横浜・川崎）より当クラブがお預かりしていた植樹資金をお渡ししました。

国際ロータリー第2590地区では2017-2018年度において、社会奉仕活動の一環として宮城県岩沼市の専念希望の丘において約8千本の植樹を行いました。その際に窓口となったのが森の防潮堤協会であり、そのご縁で日置会員が第2590地区のインター

シティーミーティングで講演をするなど、交流がありました。

今回、植樹を担当した木村博・前社会奉仕委員長（横浜北ロータリークラブ）より連絡をいただき、次年度以降の植樹に地区の植樹予算を充当して欲しいとの申し出があり、この度の事となりました。

湯川孝則パストガバナー（横浜西ロータリークラブ）ほか第2590地区の役員・会員の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



鈴木会長より日置会員へ  
第2590地区よりの支援金目録を手交

